



よろこび

2022.11.20 第135号

年金局・「隠退教師を支える運動」通信



雲然 俊美 先生

他を助ける教師の交わり

奥羽教区 秋田桜教会牧師 雲然 俊美

「お言葉どおり、この身に」
第42回教団総会で教団総会
議長に選出されました雲然
(くもしかり)と申します。

これまで5期12年教団書記
を務めました。また新たな
務めが与えられるとは思って
いませんでした。もちろん、
自分に議長の務めを担うだけ
の力が無いことは重々承知し
ております。けれども、天使
のお告げを聞いたマリアが、
「お言葉どおり、この身に成

りますように。」(ルカ2・
38)と、受け身でありつつ、
きわめて前向き(能動的)に神
さまの召しに聴き従った姿に
学び、お引き受けいたしました。

「他を助ける教会として」

伝道者として駆け出しの
頃、多くの隠退教師の方たち
との出会いが与えられまし
た。それは本当に幸いなこと
でした。その中の一人の教師
からは、教会がキリストの体
なる教会として立つことの意
味について深く教えていただ
きました。

私は、神学校を卒業後、秋
田栖山教会の副牧師として招
かれ、着任から4年半後に、
同教会が創立百周年記念事業

として始めた開拓伝道の教会
(当時は伝道所)に着任しまし
た。その時、ある隠退された
教師がこのように励ましてく
ださいました。「今は伝道所
だけれども、早く第二種教会
を設立するように。そして、
第一種教会の建設を目指すよ
うに」。

それから、このように教え
てくださったのです。「教規
には、現住陪餐会員がおおむ
ね20名以上で第二種教会、お
おむね50名以上で第一種教会
とある。これは、第二種教会
は自給・自立している教会で
あるということ、第一種教会
は自給・自立しているという
ことだけでなく、他を助ける
務めを担っているということ

である。」

大変申し訳ないことに、それから34年経た今も、教会は第二種教会のままです。けれども、「教会は、他を支え、助けてこそ教会である」との教えを片時も忘れたことはありませんし、今もそのような教会を目指しています。

〈他を助ける教師として〉

今、私は、その隠退教師の言葉を思い起こす時、それは教会に対してだけでなく、教師についても言うておられたのだということを思います。教師は自分が立つだけでなく、他の教師を支え、助けてこそ教師であるということです。

教団年金の収入の多くは、年金に加入している現職教師の掛金収入です。つまり、現職の教師と教会が、隠退された教師の方たちを支えているということなんです。そして、隠退された教師の方たちは、現職の教師と教会の働きを覚えて祈って支えてくださっています。

ます。

〈キリストの体なる教会〉

教団においては、教勢の低下傾向が長く続いています。特に、地方の小規模教会においては、その存続すら危ぶまれる状況にあります。しかし、少人数の礼拝であつても、そこに集う一人ひとりは、福音の喜びに満たされ、声高らかに主を賛美し、希望を携えて日常の生活の場へと遣わされています。

そのことを思う時、キリストの体である教団は、厳しい状況の中にある教会を常に覚え、その存在を喜び、そのような教会と共に立ち続けることの意義を確認する全体教会でありたいと願います。

〈神を喜びたたえる交わり〉

教団年金局は、教師が互いに支え合うために大事な役割を担っています。それはいわゆる「助け合いの精神」でなされているのではなく、教団がキリストの体なる教会であるとの信仰によるものです。

教会が共に立ち、それぞれの教会に仕える教師たちを、信仰をもつて支え、助けるために年金局の働きが進められています。

天使のお告げに驚いたマリヤは、神さまが自分に「目を留めてくださった」ことを感謝し、「神を喜びたたえ」ま

した（ルカ2・47）。これからも、この機関紙『よろこび』によつて、共に神を喜びたたえる交わりが深められ、他を助ける教師および教会の歩みが続けられて行くことを願っています。

（くもしかり としみ）

全教区推進協議会の開催のご報告

推進委員会事務局長

山田 昌人

2022年10月7日（金）、わずか半日でしたが、「隠退教師を支える運動全教区推進協議会」を3年ぶりに参集で開催することができました。

「隠退教師を支える運動」の推進委員と教区・支区から推薦された推進員、監事・陪席者を含め22名（うちZoom6名）の参加者が与えられ、やむなく欠席される方からも、活動報告などをお送りい

ただきました。

開会礼拝（説教秋山総幹事）に始まり、事業報告・決算報告・今年度計画、教団年金の近況（中川年金局理事長）と続き、全体協議で推進委員・推進員の活動報告や課題・提案などを語り共有しました。

予定時間を過ぎ、閉会祈祷を以って閉会しました。参加されたお二人から文章をお寄せいただきました。

1000円献金

担い手の高齢化

南支区推進員 砂塚 秀子

10月の初旬というのに厚

手の上着を羽織り、冷たい雨の日にキリスト教会館会議室に向かいました。全国の「隠退教師を支える運動」推進委員・推進員が集まりZoomの参加者と共に会議が行われました。

「この恵みの業を」と題した説教は、コリントの信徒への手紙二8:1-9

からマケドニア州の諸教会に与えられた神の恵みについて話されました。「聖なる者たちを助けるための恵みの業と奉仕に参加させてほしいと願った」この恵みの業をあなたがたの間で始めたからには、やり遂げるように「この聖書の箇所私たちが行っている1000円献金運動と重ねて、今一度力を

頂き、励ましを頂いたような気がします。

現在1000円献金の教会参加率は56%です。今悩んでいることは長い間の運動を担って来られた方々の



高齢化です。後継者が与えられることを祈っています。伝道に牧会にと生涯を捧げられた牧師先生方を思い、1000円献金運動を恵みの業として途切れることなく伝え続けたいことを切に願います。

(すなづか ひでこ/碑文谷教会)

全教区推進協議会に

参加して

推進委員 須田 静代

三年振りの対面での協議会は、顔が見え表情から思

いが読みとれ伝わってきました。コロナ禍のため、教区総会や地区等の婦人会研修会等でアピールができない中でも、委員の方々が、精一杯できることに挑戦、努力しておられる様子が伝わってきました。

開会礼拝で「神さまから受けたものを他の人のために与えるという、主が私たちのために下さった恵みの業なのです。」とメッセージをいただきました。参加者が少しでも増えるよう、いただいた恵みを用いて努力し、導き支えて下さいと思いを新たにしました。

協議会の

最後にはいつも『隠退教師を支える運動』私たちのビジョン」を唱和して決意を新



たにしました。信徒の方々が共有し、同じ思いで一人でも多く参加してくださることを願ひ祈っています。

(すだ しずよ/名古屋中央教会)



業 務 室 よ り

一年金を受けている方へ 年金給付のお知らせ

12月の定例給付のご案内をします。

送金内容 2022年度第3期分給付
(2022年10・11・12月分)

送金日 2022年12月9日(金)
期日に、ご指定の金融機関に入金されて
いない場合は、ご連絡ください。

次回送金 2023年4月10日(月)

連絡先・年金振込先の変更は、できる
限り早めに、書状、Fax、e-mailの何れ
かで、年金局までお知らせください。

☆ 10月7日の定例給付日には、退職年金1
億802万円を710名の受給者にお送りい
たしました。

☆ 「教団新報・年金特集」(No.76)を同封
します。年金局ならびに「隠退教師を支
える運動」の2021年度決算報告を掲載
しております。ご覧ください。

なお、『隠退教師近況』の欄、教師名の前
に記載すべき「()内は最終任地の教区
教会名です。」という文章が印刷所の手違
いで欠落してしまいました。お詫びし、
訂正させていただきます。

☆ 2023年1月下旬に確定申告のための計
算書をお送りいたします。大切に保管し、
確定申告の際にご利用ください。遺族年
金受給者には送付していません。必要
な方は年金局までご連絡ください。

☆ 9月27日(火)～29日(木)ホテルメト
ロポリタン池袋に於て、コロナ禍で延期
となっていた第42回日本基督教団総会が
4年ぶりに、「礼拝から愛の業へ―試練の
中での日本伝道の推進」を主題に開催さ

れました。議員総数400名中335名の出席で議事が開始されました。感染予防対策を充分に行い、内容も会議に集中して行われました。投票の結果、総会議長には雲然俊美牧師(秋田桜教会)、副議長には藤森勇紀牧師(富士見町教会)が選出されました。また議長、副議長より、書記として黒田若雄牧師(高知教会)が推薦、承認されました。この他に、常議員選挙、4年間の活動、財務報告などが行われました。今回は年金局関連の議案として、謝恩金勘定の終了に伴う謝恩金規則の廃止、隠退教師の代務者に復帰に伴う年金継続給付実施のための教規および教師退職年金等規則の変更が常議員会により上程され、承認されました。

☆ 今年の「謝恩日」は11月20日です。全国の教会・伝道所に献金のお願いをしています。長い年月、主の業に全力をそそいで来られた先生と遺族の方々が隠退後に少しでも安定した毎日をお送りいただけるようにという願いから発足した教師退職年金は、全国の教会と信徒のみなさまから献げられる「謝恩日献金」と「隠退教師を支える運動100円献金」が大きな支えとなり、58年間歩んでまいりました。これからもこの制度が永続的に健全な運営が続きますようお祈りとお支えをお願いいたします。

☆ 11月27日から降誕節に入ります。寒い季節を迎え、新型コロナウィルスとインフルエンザの同時流行が心配されています。みなさまの健康が守られ、主のご降誕を待ち望む、穏やかな時を過ごされますようお祈りしております。(村山めぐみ)

日本基督教団年金局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

Tel: 03(3202)2080 / Fax: 03(3202)2081

mail:nenkin@uccj.org

「隠退教師を支える運動」推進委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

Tel: 03(3232)8005 / Fax: 03(3202)2081

mail:sasae100@uccj.org